

であい
ふれあい
まなびあい

水谷公民館からのお知らせ

TEL049-251-1129



※下記の講座は、全て参加費無料です。

第38回 水谷文化祭 「モア・モア 水谷☆ふれあいひろがれ」

数年にわたり、中止や縮小となっていた水谷文化祭ですが、今年度は、リニューアルをして開催します！幅広い世代の地域の方々にお楽しみいただける内容となっておりますので、ぜひお越しください。

◎オープニングセレモニー 11月11日(土) 10時から

◎作品展示

…公民館利用サークルの皆さんが日頃の成果を発表します！
地域の方の個人作品も展示しておりますので、ぜひご覧ください。
11月6日(月)から12日(日)まで

◎舞台発表

…各サークルの発表に加え、針ヶ谷小学校の児童合奏もあり見どころたっぷりです！(12日には、シークレットゲストの演奏があるかも！?)
11月11日(土)・12日(日)

◎模擬店

…おいしい食べ物からバザーなどの模擬店、あそび体験やベーゴマ大会など、ご家族皆さんでお楽しみいただけます！
11月11日(土)・12日(日)

【主催】水谷文化祭実行委員会、水谷公民館

参加団体等の詳細につきましては、館内にて配布のチラシ、もしくはこちらのコードから、ホームページをご覧ください。



※駐車場に限りがございますので、お車での来館はご遠慮ください。

-おひとりさまサロン-
(ひとり暮らしの高齢者対象)

百(もも)の会

ひとり暮らしでお困りのこと、悩んでいることはありませんか。
ひとり暮らしの高齢者の方たちが悩みを話したりする交流の場です。

とき/11月13日(月) 午後1時30分~

内容/大宮公園散策

※初めての方は、11月10日(金) 午後5時までに、水谷公民館に直接または電話にてお申込みください。

公民館の利用について

【令和6年2月の予約の流れ】

内容	日にち
①抽選申込期間	11月15日(水)~30日(木)
②コンピューターによる自動抽選	12月1日(金)
③抽選結果の確認	12月1日(金)~4日(月)
④窓口受付開始	12月5日(火)
⑤インターネット仮予約受付	12月6日(水)

※ 休館日 令和5年11月20日(月) 第3月曜日

水谷地区の人口 (令和5年9月30日現在)

水谷地域の人口 34,280人 (+20人) 世帯数 16,460 (+7)
()内の数字は前月比

編集委員のつぶやき

国連から「今年7月6日に、これまで最も高い地球の平均気温を記録した」ことや、日本の気象庁から「今年の8月は猛暑日が最も多かった地域が多数」との高温に関する発表が数多くありました。このようなことは、従前では「エルニーニョ現象やラニーニャ現象のような異常気象が原因」との指摘された時期がありました。最近では「温暖化の結果である」と言われるようになってきました。

地球温暖化と言われればこんな大きなテーマでは、私たちの一人に寄与する割合は非常に小さく、くじけてしまいたいようになりません。

しかし、「ちりも積もれば山となる」や「愚公(ぐこう)山を移す」との例え通り、小さい一歩でも多くの人が行えば大きな成果を得られると思います。少しずつでも良いので始めませんか？温暖化対策を！

編集委員 辻明

子育てサロン

① おはなし会

絵本の読み聞かせや手遊びを楽しもう！

協力/読み聞かせボランティア『あいあい』
とき/11月1日(水) 午前10時30分~午前11時

定員/親子8組(申込順)

申込/10月18日(水)午前9時~10月27日(金)午後5時
右のコードより、お申し込みください。→→

0歳から参加
できます！



② 親子フレンドパーク

工作や体操、紙芝居などを親子で楽しみましょう！

とき/11月14日(火) 午前10時30分~11時30分

定員/親子5組(申込順)

申込/10月23日(月)午前9時~11月2日(木)午後5時
右のコードより、お申し込みください。→→

今月は「フラフープ
あそび」です！



「はじめてのスマホ教室」

初心者の方のためのスマホ講座です。お気軽にご参加いただけます。

とき/11月8日(水) ①午前の部 ②午後の部

時間/①午前10時~12時 ②午後1時30分~3時30分

講師/スマホアドバイザー (SoftBankより派遣)

内容/①初めてのスマホ体験

②スマホの基本とLINE体験

定員/①・②それぞれ10名(先着順)

申込期間/①・②とも、10月23日(月)午前9時~11月2日(木)午後5時

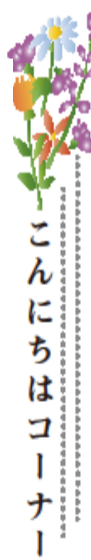
申込方法/水谷公民館の窓口または電話で応募してください。



頃から、田んぼ体験に参加されています。一番上のお子さんが低学年の頃から、田んぼ体験に参

今回の、親子田んぼ体験に長年参加されているSさん(水子在住)にお話を伺いました。

自然の中でやさしい子育て



で約半年、季節の移り変わりを感しながら稲の生育を見て来たそうです。そして最後に餅つきという一大イベント。きなこ餅やからみ餅、汁物まで、参加者が全員で作るそうです。



Sさんご自身もこの地域で育ち、小学生の時に田植えを体験したとか。しばらくはこの地域から離れていましたが、ご家族で戻ってこられました。

編集委員 佐々木真理子